

Weekly Report

ROTARY CLUB OF KONAN

2022-23



イマジン
ロータリー

創立 / 1965年6月25日

例会日 / 毎週木曜日 PM12:30~

会場 / 江南商工会館1F 大ホール
江南市古知野町小金1-12
0587-54-8132

事務局 / 江南商工会館 別館1F

TEL / 0587-55-6554

FAX / 0587-59-7720

URL / <http://www.konan-rc.com/>

Mail / kouanarc@beach.ocn.ne.jp

会長 / 冨永典夫 幹事 / 岩田進市 会報委員長 / 北畑祐三



2023年(令和5年) 6月15日(木) 晴れ 第2764回(当年度第33回)例会

点鐘

会長 冨永 典夫君

司会

SAA 片平 博己君

ロータリーソング

「それでこそロータリー」

4つのテスト唱和

横山 史明君

— 言行はこれに照らしてから —

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

ゲスト及びビジター紹介



地区青少年交換委員会 副委員長 川西 利浩様
ようこそ江南ロータリークラブへ！

会長挨拶



会長 冨永 典夫君

本日は、年間計画に無かった卓話ではありますが、地区の青少年交換委員会の副委員長の川西利浩様をお呼びして、卓話をお願い致しました。江南ロータリークラブでは10年前には青少年交換の留学生を受け入れておりましたが、どのようなことをして行かなければいけないか記憶も薄れてしまいましたので、今一度思い出して頂き、経験のない会員にも知って頂いて、温かく留学生を迎えたいと思います。青少年交換ハンドブックの中に、「交換期間中、ロータリアン・カウンセラーと受入クラブの会員は、学生と定期的に連絡を取り、学生の毎月の小遣いや緊急用資金など資金面での必要な手配を行い、次のホストファミリー宅への移動を助けます。ロータリアン・カウンセラーは、ホストファミリーまたは学校に関する質問や懸念について、いつでも学生と話し合えるようにします。このような問題については、ホストファミリー抜きで話し合える場所を選ぶようにします。学生からの電話に応じるだけでなく、ロータリアン・カウンセラーは、少なくとも1か月に1度、学生に電話をするか直接会って積極的にコミュニケーションを図るようにしてください。カウンセラー、または別の適格なロータリアンが、ホストファミリー宅にいる学生を訪問し、生活環境が、事前審査で同意した環境と同じかどうかを確かめます。文化的な行事や社交行事に学生を招待します。音楽のレッスンでも、博物館の見学でも、ただ一緒にお茶を飲むだけでも、早いうちに時間をつくって学生との信頼関係を築くことで、学生が抱える問題を早期に見つけて対処できるようになります。文化の違いによる問題を学生が克服できるよう、必要に応じて学生が新しい生活環境になじむための支援をしてください。地域社会や学校と協力し、学生がさまざまな活動に参加して地域の生活に溶け込めるようにします。」とあります。実際どの様なことに注意をすべきか、皆さんと共有して行きたいと思えます。8月からの留学生の受け入れに関しまして、約一年間皆様のご協力をお願いすることもあろうかと思えます。その節には、よろしくお願ひいたします。話は変わりますが、この時期は水害の発生が多い時期であります。江南市では、防災ハンドブックを配布しています。災害情報の入手手段、日ごろから家庭で備えること、水害の被害想定などのハザードマップ、避難する場所や避難する際に

注意することなどが掲載されていますので、ご活用ください。我が家も備蓄品を用意しておりますが、この間確認しましたら電池が無くなっておりました。ちょっとした物でも使えないと困ることがありますので、確認されることをお勧めします。本日もよろしくお願いたします。

出席報告

委員 木本 寛君

会員数	出席者数	欠席者数	出席率
48名	30名	19名	69.77%

ニコボックス

委員 木本 寛君

○地区青少年交換委員会副委員長 川西利浩様

ようこそ 江南ロータリークラブへ！

本日の卓話、よろしくお願い致します。

富永 典夫、南村 朋幸、岩田 進市、駒田 洋平各君

○R. I. D2760 2022-23年度

地区青少年交換委員会 副委員長 川西利浩様

ようこそ 江南ロータリークラブへ！

本日の卓話、よろしくお願い致します。

伊藤 鶴吉、松岡 一成、庄田 元久、沢田 昌久

近藤 道磨

各君

卓話



地区青少年交換委員会 副委員長 川西 利浩様



ロータリー 青少年交換の概要



2022-23の派遣候補生とインバウンド (ガバナー事務所にて)

ロータリー 青少年交換とは①

国際ロータリーにおける奉仕活動の1つで、高校生の交換留学を行っています。このプログラムでは、他国の文化を理解、自国の文化を伝達するために、現在では毎年約9,000人もの学生が世界中で交換留学を経験しています。

最初の交換留学は1929年フランスのニースロータリークラブが行い、その後1939年にはアメリカ合衆国・南米間で開始され、1972年に国際ロータリーの理事会で「世界的な平和と理解を推進する価値ある国際的活動」として正式に承認されました。

ロータリー 青少年交換とは③

・ロータリー 青少年交換はクラブ間の奉仕



青少年交換委員会がサポート

- ・地区委員会はクラブ間の奉仕をサポートする立場
- ・バナー交換の準備をお願いします

ロータリー 青少年交換とは④

▷ 4Dルール

4Dルールは不可侵であり、これを犯したものは自国に強制送還されます。

- ・ **D**rugs 麻薬、タバコ
- ・ **D**rinking お酒 (自国で許されていてもNG)
- ・ **D**riving 車やバイクの運転
- ・ **D**ating デート、SEX (恋愛に溺れてはいけない)

ロータリー 青少年交換とは⑤

▷ オリエンテーション

月に一度のオリエンテーションは出席義務です。受入学生を必ず出席させてください。

▷ 行事の優先順位

行事が重なった場合、以下のようにご判断ください。

地区 > クラブ > 学校 > ホストファミリー

この数字は何でしょうか？

・受入「11人」 派遣「13人」

これは江南ロータリークラブ様の青少年交換プログラムにおける1968年からの実績です。

青少年交換プログラムの用語

- **インバウンド** → 来日する（している）学生
- **ホストクラブ** → インバウンドの受入クラブ（江南クラブ様は来日生（Katka さん）のホストクラブ）
- **スポンサークラブ** → 派遣生の輩出クラブ（江南クラブ様は井口凛削さんのスポンサークラブ）

インバウンドについて

- Katarína OSTERTÁGOVÁ 15歳
- 愛称は「Katka」
- 出身国はスロバキア
- 8月19日にセントレアへ到着予定
- ご両親はロータリアンではない
- セリアック病でグルテンフリーの食事が必要
- 食べ物のアレルギーあり



これからの流れについて

- 7月8日に受入説明会（次年度の青少年奉仕委員長、カウンセラー、学校、ホストファミリー、クラブの事務局に出席要請）
- 8月19日にKatka さん来日
 - ▷ セントレアへお迎えをお願いします！
- 8月25日から一泊二日のオリエンテーションに参加

インバウンドは日本の蒸し暑さに弱いです。
自国と環境が違うので体調管理に気をつけてください！

ホストクラブの費用と補助金

▷ 費用

30万～50万円程（状況によって差があります）
・制服や教材・授業料、例会時の食事、スマホの端末

▷ 補助金

地区から毎月5万円の補助金があります。

- ・ホストファミリーに3万円
- ・インバウンドのお小遣いに1万円（通信費を含む）
- ・ホストクラブに1万円

（8月と帰国月は日割り計算となります）

30人のクラブでも1人あたりの負担が1～1.5万円程。これだけ少ない費用で一人の学生の人生を変えられる事業！

注意事項

- 地区外（県外）に出る場合は事前に申請が必要
- インバウンドは海外へ出国できない（修学旅行も）
- インバウンドの家族が来日し、本人と会うのはNG
- インバウンドは一人で地区外に行ってはいけない（インバウンド同士や未成年の友人とも NG）
- カウンセラーはホストファミリーになれない
- インバウンドはお客様ではなく「家族・仲間」

ホストクラブと ホストファミリーの経験談



長男（派遣生）



インバウンドのマディ（右）

派遣について①／ 出国まで

- 長男が中学2年生の頃、ロータリー青少年交換プログラムに参加したいと申し出。
- 気持ちが本物であることを確認し、高校は国際料がある学校を選択。
- 選考試験に合格し、一年間のオリエンテーションを経て、アメリカのミシガン州に派遣された。
- 学力は平均的。性格はおとなしく控え目。

派遣について②／ 帰国後

- **見事に殻を破って帰ってきました！**
- 派遣先でレディーファーストを学び、買い物では母親が持つ重い荷物を率先して持つように。
- 陰悪だった次男の事を認めることができるようになった。
- 日本と海外のロータリークラブの違いを理解。
- 生徒会に参加。受験は早稲田大学政治経済学部一般入試で合格。現在は社会人一年生。

受入について①／ ホストファミリー

- アメリカ・ミシガン州から交換学生が来日。
- マデリーン・ルークという名前の女の子。
- 愛称は「マディ」、おとなしい性格。
- 日本が大好きで、夢が叶って来日できた。
- アメリカで日本語の勉強をしていたので、言葉が通じずに困ったことが殆ど無かった。
- 娘を育てていないので、最初は接し方に困った。

受入について②／ ホストファミリー

- ホストファミリーは3家族で、川西家が第一ホストファミリーに。（期間は来日からクリスマスまでの約4ヶ月）
- マディはアメリカでも電車に乗ったことが無かった。妻と一緒に通学し、帰りも学校まで電車で迎えに行った。（期間は10日ほど）
- さほど大きな問題は無かった。



受入について ③ / ホストファミリー

- ・プログラム終了後、一旦アメリカへ帰国したが、バイトでお金を貯めて一年後に1ヶ月ほど来日し、日本の大学へ進学する事を決意。
- ・現在は東京外国語大学の4年生。
- ・長い休みがあると「帰っていい？」と実家へ帰省するかのよう「帰ってくる」。

受入について ④ / ホストファミリー

▷ 受入にあたっての考え方

受入は単に海外の学生を住まわせてあげるのではなく、その子のことの全てを温かく、広い心で受け入れてあげてください。
その気持ちは必ず学生に伝わります。

▷ ある程度、覚悟が必要な奉仕です。

マディのレポート



来日してから困った事、想定外の文化

・学校で簡単に友達を作れなかった事

文化の違いとか、言語の壁のせいで最初の数ヶ月間うまくクラスメイトと話せなかった。私に興味を示してくれたが、中々友達を作ることが出来なかった。友達がいなくて、学校に行く事も少し難しいと感じた。

・外国人だから部外者扱いされた事

見た目が日本人と違うので、どこへ行っても外国人として見られる。すなわち部外者扱いされる。アメリカでは様々な国籍の人たちがいるので、以前では考えなかったことだった。学校でも同じように、本当に最後まで馴染めなかった気がした。

ホストファミリー ①

ホストファミリーは3家庭で、どの家族もものすごく暖かくて日本の文化について色々教えてくれた。また、日本の色々な場所に連れてくれて、沢山の良い思い出を作ることができた。

ホストファミリーと一緒に困ったことはなかったが、一つのホストファミリーとの時間が終わる次のホストファミリーに移動する時が一番辛かった。その家族と仲良くなって、やっとなれたと思えばさようならを言うのが辛かった。



ホストファミリー ②



この写真は留学中私にとって最も印象的な場所、白川郷で撮った写真。第一ホストファミリーがこんな素敵な日本の景色を紹介してくれたこと、今もすごく感謝している。

ロータリークラブに関わって

- ・良い点 ● 沢山の素敵な友達ができる。私の年度では、様々な国から一緒に来日した学生がいて、皆すごく仲良くなった。ロータリーのオリエンテーションやミーティングで会うことが出来て、BBQをやったり、観光に行ったり、いつもロータリーのおかげで楽しい時間を過ごせた。● 自分の演説スキルが上達したこと。ロータリーで留学をすると、毎月クラブに「今月レポート」のような演説をしなければいけない。これまでに大勢の前で話した事はなかったので、毎回緊張したが、このおかげで日本語のスキルと同様に演説のスキルが上手くなったと感じられた。
- ・悪い点 ない!!!

点 鐘

会長 富永 典夫君

本日の食事



現・次期合同会長・幹事会

6月8日(木)、ホテルオークラレストラン 桃花林にて、現・次期合同会長・幹事会が行われました。





写真等ございましたら会報までお知らせください
(担当 北畑 祐二・佐藤 弘夫)



会報掲示板



My ROTARYの登録はこちら
※初めての方は
アカウントを作成してください。
※アカウントがある方は
ログインしてご覧ください。



ROTARY 2760
アプリダウンロードはこちら